

真福寺貝塚と後晩期の社会

～「環状盛土遺構」の形成と生業～

居住痕跡の累積と居住活動を支える生業の先端的研究

- 発表1 (13:00～13:40) 真福寺貝塚の発掘成果とその意義 (吉岡卓真)
発表2 (13:40～14:20) 縄文時代後晩期の古環境と真福寺貝塚 (能城修一)
発表3 (14:20～15:00) 縄文後晩期土器の器種と用途 (阿部芳郎)
休憩 (15:00～15:20)
発表4 (15:20～16:00) 土器付着炭化物の分析からみた土器の用途 (米田穰)
討論 (16:10～17:00)

期日：2018年10月7日(日曜日) 12:30 受付開始・13:00 開演 17:00 終了

場所：明治大学駿河台キャンパス・グローバルフロント1F グローバルホール

参加形態：先着順120名 (事前の受付予約はしません)・参加費無料・無償配布資料有・一般参加も歓迎します。
お問合せ先：明治大学資源利用史研究クラスター 03-3296-1873